

令和7年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)

Happy+Natural
Happy+challenge

(保育目標)

げんきな子 やさしい子
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている

B：わりとできている

C：一部改善が必要

D：改善しなければならない

	内容	前年評価	今年評価	現状・課題
保育目標について	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	B	・保育理念など理解はあるものの保育と結びつけるとなると難しさを感じるのか個人の評価を低くみてしまう職員も多い。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切に保育をしている	B	B	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	B	B	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	A	A	・トイレトレーニングなど進級に向けての活動においては準備や声掛けなど個々に合わせて行い、保護者への情報共有も丁寧に行った。また、こちらは伝えつつも保護者に伝わっていないこともあり「伝え方」の工夫が必要だと感じている。 ・保育内容や環境も子ども達の発信をもとに進めており、保育者も一緒に楽しむ様子もある。年々保育環境もワクワク感が増しているように感じる。 ・職員間で考え方の違いに悩む職員もあり、思いをくみ取り寄り添いながらアドバイスを行っている。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	A	A	
	(3)素材・用具を適切に使用している	B	B	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	B	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	C	B	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	B	A	・以上児は野菜栽培をする中で、雨が降らず水が足りないと枯れてしまうなど天気や気温が植物の成長に関係している事に自分たちで気づくことができ良い学びとなった。次年度も食育からたくさんの学びへと繋がるよう働きかけていきたい。 ・アレルギー児への対応は栄養士、担任、保護者との情報共有を定期的に行い個々に対応し間違いのないように提供している。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	A	A	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	A	
役員研修構成	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	B	B	・リーダーなど立場によって責任の重さに違いが生じてしまうが、それぞれの立場で組織としての役割を意識して行動できるよう目指していきたい。 ・子どもの人権については知識を深めるために園内研修を行った。言葉にすることで個々の固定概念を見直すきっかけにもなった。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	B	B	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	B	

		前年評価	今年評価	現状・課題
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちはしっかり対応できたと思っているが保護者には伝わってなかったり受け取り方の相違で不安や不信感を与えてしまったこともあった。言葉選びや対応については毎年の課題でもある。日頃の対応が信頼関係にもつながっていることを職員に周知している。 ・子ども達の興味関心から広がった活動はクラスだけでなく園全体へも発信し、子ども達のあそびが学びへと繋がっていることを伝えていきたいと思う。
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	C	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	A	A	
	(4)園日より、ドキュメンテーション、きっぷノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	B	B	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	A	

開かれた保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子への対応については、保護者への伝え方や専門機関との連携を丁寧に行い、子ども達自身がのびのびと安心して過ごすことができるような環境を提供できるように積極的に働きかけることができた。
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	B	A	

子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学では自園の紹介のほか入園に当たっての手順など丁寧に伝えるようにしている。 ・保護者からの相談については送迎時や個別で面談の時間を設け対応している。
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	B	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	C	B	

総合的な現状と課題

保育理念や目標を理解し子どもたちからのつぶやきや発信を保育へと繋げ、楽しい・面白い保育を行っているが、自己評価を低く捉えている職員が多いと感じる。それぞれの自己肯定感が高められるようなメンタルケアや声掛けを行い、保育の質の向上へと繋がるよう努めていきたい。また、年数を重ねた職員でも園行事のあり方や目的の解釈の相違が生じてしまうことがあった。その年によって子ども達の成長や興味関心も違うため、現状の子どもの姿から活動内容を考えることや「子どもたちが自分たちの成長を楽しむための取り組み」という風光るゆめの森の行事の捉え方を行事前に周知する必要性を感じた。年度末の保護者アンケートでは総合的に満足しているという結果だったが、様々なご意見や要望もあったのでできることから改善に努めたいと思う。

園名 風光るゆめの森

氏名 池尻 和美